

「家族や周りの人との絆」

3年 R.Y

みなさんは絆とはどのようなものだと思いますか。

私は絆とは感謝の心の形だと思います。友人、家族、周りの人との絆を感じないのは、その人たちが自分の近くにいるのがあたり前だと感じているからだだと思います。

実際に、私は日常生活の中で今までは絆を感じたことがありませんでした。いつも自分のそばにいた人が自分の前からいなくなった時に初めてその人との絆を感じる事ができるのかもしれませんが。

小学校低学年だった私にはある一人の親友がいました。その子と私は本当に仲が良く、休み時間はいつも一緒にいました。学校では二人でいることがほとんどでした。交換日記までしていました。

そんな中、小学校四年生の春、私は父の仕事の都合で田舎から東京に引っ越しをすることになりました。転校が決まり、私と親友は離れ離れになってしまいました。当時小学三年生だった私にとって急な出来事で、受け止められるはずもありませんでした。お互いに携帯電話を持っていなかったため、二人で文通をすることになりました。

転校してすぐ、私はその子へ手紙を送りました。歩きで片道一時間だった通学路がたったの五分になったことや、地下鉄が走っていること、学校に給食を運ぶなど、東京に引っ越しをして私は誰よりも最初にその子に伝えたいことがたくさんありました。手紙を送って数日後、すぐに返事が届きました。四、五枚もの紙にすき間なく文字が埋められていました。私もこの絵に負けないくらいの上質な絵を描きたい！もっと東京の暮らしを教えてあげたい！親友はどうしているのかなと思い手紙を送ると、またすぐに返事が届きました。

文通を繰り返すうちに手紙はどんどんたまっていきました。

私はその時、小学校でその子と毎日会っていた時には感じなかった、遠く離れていることへの寂しさがありつつまるで二人が近くで通じ合っているような複雑な気持ちを持ちました。

離れていても仲が良く信頼感を持ったお互いの関係は全く薄れず、その子が私にとっては欠かせない存在であるということに気づきました。

これは私と親友が離れたからこそ感じられた強い絆ではないかと感じました。

初めにも書いたように、私は絆とは感謝の心の形だと思います。普段友人や家族、周りの人との絆を感じないのは、その人たちが自分の近くにいるのがあたり前だと感じているからだだと思います。

友人や家族、周りの人々がいなくなってしまいその時改めて絆を感じる事ができるかもしれませんが。しかし、その人たちが近くにいるにも感謝する心を持ち絆を深めていくことが大切だと思います。

私はこれからも親友との関係を崩さず、今自分は何をするべきなのかを考え、今まで以

上に絆を大切にしていきたいです。

また、家族や友人と毎日一緒にいられることへの自分の中にある感謝の心を見失わず、多くの経験を通して絆を増やし、深めていきたいです。